

「2R」啓発 イベント参加報告

整理番号:20180701

イベント名	パートナーシップ・ミーティング2018
実施内容	
活動日時	平成30年7月1日(日) 9:00~16:00
活動場所	浜松市市民協働センター
活動者名	高根(2名)
詳細	<p>楽しみながらごみ減量を始めてみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らすメリット ・ごみを出す行動に関する市民の声紹介 ・具体的な活動:浜松市との協働事業=交流の場「ごみゼロカフェ」開催、「環境フェア」(仮称)開催、情報発信 ・ごみを減らすための行動:リデュース編⇒生ごみ減量 ・ごみを減らすための行動:リユース編⇒移動もったいない市、リユース楽器、貸出リユース食器

事業の様子と成果	<p>ブースへの参加人数:30名 会場参加者:120名 スッキリエコ自慢冊子 24冊、2Rもったいない実践メモ手帳 23冊、楽器・食器リユースチラシ 8枚、生ごみ減量うちわ 1枚、生ごみ用そのまんまポイツ 1枚、もったいない市チラシ 13名 <グループワークショップ> 『2R(リデュース・リユース)を啓発する活動』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2R推進月間」制定に向けた提案 ・平成31年2月「環境フェア」(仮称)開催に向けた参加者募集 ・イベントをエコにする活動:貸出リユース食器紹介 ・リユース市開催:移動もったいない市開催について ・楽器のリユース事業紹介 ・「ごみゼロカフェ」開催:市民のごみに関する意見や問題・悩みを話し合う場の開設について <p>7団体に活動紹介を行い協働提案を行った。 ◎今後の協働について提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はままつ人づくりネットワーク:登録を行い子ども達に向けた環境学習の検討。 ・学生・若者がイベントを行う際に、エコを意識したイベント活動への啓発。 <p><団体PRタイム> 目標:浜松市民が「ごみ減量活動」に意欲的に取り組むこと 今回のイベント開催に関して「エコ」を意識した提案が実施されたことの紹介</p> <p>①チラシに「雑がみ」啓発文の掲載 ②分別ごみ箱の設置</p> <p>ワークショップ・PRタイム後、興味を持った方々がブースを訪問してくれました。</p> <p>市民の声:13件 女性:2Rもったいない実践メモ手帳やスッキリエコ自慢。すごく良い。友達にも薦めたい。 篠原在住 6人家族:とにかくごみが多い。雑がみは別で回収場所に持って行っているし、水切りも行っている。 女性:母親の家に不要になった食器(来客用)が沢山ある。捨てるのはもったいない。 男性:一般家庭と事業者のごみの出し方が異なるため違いが分からなくなる。地域によっても違う。ちゃんと教えて欲しい。</p>
----------	---

記録添付

